

## 令和4年度 第1回桐生市環境先進都市将来構想推進協議会 議事録

### 1. 日時

令和4年6月29日（水） 18：30～19：10

### 2. 場所

桐生市役所 新館5階 501会議室

### 3. 出席者

#### (1) 委員（14人）

会 長：天谷 賢児 [群馬大学大学院理工学府 教授]  
副 会 長：近藤 圭子 [きりゅう市民活動推進ネットワーク 理事長]  
委 員：西蘭 大実 [群馬大学共同教育学部 教授]  
根津紀久雄 [特定非営利活動法人北関東産官学研究会 会長]  
藤生 五郎 [桐生商工会議所 副会頭]  
深澤 光秋 [新田みどり農業協同組合 総務部長]  
新井 悠大 [桐生広域森林組合 業務部部長]  
今泉 芳雄 [桐生市家畜自衛防疫協議会 会長]  
佐羽 宏之 [2015年からの生活交通をつくる会 会長]  
小島 由美 [未来創生塾 副塾長]  
坂本久美子 [桐生市女性人材リスト（農業委員・花き栽培）]  
中野 久美 [桐生市女性人材リスト（建築設計）]  
村上 恵理 [桐生瓦斯株式会社営業部 次長兼特需課長]  
(欠席者) 茂木 理亨 [桐生商店連盟協同組合 副理事長]

#### (2) 事務局（4人）

関口市民生活部長  
高橋環境課長  
金子環境都市推進係長  
高橋主任

### 4. 議題

- (1) 令和4年度桐生市環境先進都市将来構想実施計画について
- (2) その他

### 5. 議事要旨等

#### (1) 実施計画について

令和4年度桐生市環境先進都市将来構想実施計画の内容について報告を行った。

#### (2) その他

な し

## 6. 委員意見（質疑応答）

【議題】 令和4年度桐生市環境先進都市将来構想実施計画について

【委員】

山田製作所から寄附を受けた電気自動車充電設備は急速ではないのか

【事務局】

急速ではなく普通充電の区分となる。

【委員】

商工会議所においても急速又は普通充電設備導入を検討している。

【委員】

環境先進都市として、産業界が積極的に関わられるような仕組づくりを行い、また、産学民が連携できる取組を取り入れて欲しい。

【事務局】

将来構想は、産学官民が連携し、市では全庁体制で進めていくものとなる。取り入れられる項目があれば順次取り入れていきたいと考える。

【会長】

環境への取組を積極的に実施している民間企業も多いため、商工会議所等と連携していただきたい。

【事務局】

実施計画は、10年間のロードマップに沿って毎年度策定している。当構想は8年目を迎えており、前期の区切りとなる10年目まで近づいている。今後の構想の改定も踏まえつつ、新しい情報を常に取り入れて実施していきたいと考える。

【会長】

SDGsの観点からも考え、実行計画にSDGsの項目を反映していただきたい。

【副会長】

SDGsの観点に加え、市民の役割も重要と感じる。言葉として取り入れても良いと感じる。関連項目は多岐にわたると思う。

【事務局】

具体的にSDGsに関連するものがあれば、項目に入れていきたい。

【副会長】

電動アシスト自転車の購入補助など、既に実施していることに対してSDGsの観点を組み込むことでも良いと思う。

【委員】

将来構想の追補版にSDGsの項目の表示がなされている。

【会長】

全体計画には表示されているが、実施計画の中にも取り入れていただきたい。

【副会長】

企画課がSDGsの取組を実施しているので、それらの実績を入れ込んでも良いと感じる。

**【委員】**

市民が環境先進都市将来構想の存在を知らない。また、ゆっくりズムも同様に知られていないので周知啓発が必要である。

**【事務局】**

今現在、ゆっくりズムと合わせて環境先進都市の周知啓発を進められるよう検討している。

**【委員】**

シーポッドの販売方法は今現在企業へのリースのみとなるが、桐生市はどのように導入したのか。

**【事務局】**

山田製作所が車両の部品を生産している関係で、初期生産・販売の段階で山田製作所が2台購入することができ、1台は山田製作所が自社に導入し、残り1台を桐生市に寄附いただいた。

**【委員】**

日産・三菱にてEVの軽自動車補助金利用で150万円程度にて購入できるようだ。トヨタのシーポッドの様に軽より小さいクラスになるとなかなか需要が伸びないようである。

**【会長】**

CO2排出の問題で、自動車をEVにシフトしても、電力が足りないのは明白である。コンパクトなモビリティも必要である。

**【委員】**

産業界においても温暖化対策に真剣に取り組んでおり、市内業者がつながると良いと感じる。また、市で計画等を立てる前には、一方的に計画するのではなく、産学民が意見を出し合いながら作り上げられるようにして欲しい。

**【会長】**

計画策定等においては様々な方が議論に参画できるよう柔軟に対応いただきたい。

**【委員】**

桐生ガスの環境に関する取組とし、カーボンオフセットの観点からカーボンニュートラルガスの導入を行っている。エネルギー事業者として地球がどうあるべきかを考えており、また、1人1人が意識しないと成しえないことではあるが、10年、20年先の未来のために貢献していきたく。

**【会長】**

環境先進都市として、環境問題に努力している市内企業を表彰するとかできれば良いと感じる。

**【委員】**

国や県が実施しているゼロカーボンシティに、桐生市も手を上げてみてはどうか。みど

り市は既に実施している。環境先進都市としてもったいないと感じる。実績が必要であれば、市内の企業を調査し、企業レポートなどを確認し、SDGsの取組やCO2削減の取組など確認できる部分もあると思う。

#### 【委員】

『ゆっくりズムのまち桐生』は、市民に浸透していない。寄附いただいた充電設備の看板に山田製作所の看板がついているが、ゆっくりズムのまち桐生の文言を入れた看板をとりいれても良いと感じる。直接関係がなくても市民に見えるところに『ゆっくりズムのまち桐生』を入れていければ普及していくと感じる。

4月29日のアースデイでの意見聴取結果をもとに考えると、ゆっくりズムは、市が具体的にこういうものであると提案するのではなく、人によって感じ方が違うので、色々な形があっても良いと感じる。言葉が独り歩きして、市民が考えてくれる方が良いと思う。

※協議会終了後、令和4年度第1回桐生市環境先進都市将来構想推進協議会『ゆっくりズムのまち桐生』ワーキンググループを開催した。

— 以上 —